



民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
民主党栃木県総支部連合会(広報委員会)
〒320-0043 宇都宮市桜2-1-30
電話 028-627-1700
Eメール minsyu@ace.ocn.ne.jp
ホームページ http://www17.ocn.ne.jp/~minsyu/



地域から共生社会をめざして!

(2013年3月23日第17回県連定期大会承認)



2013 民主党栃木県連役員

常任顧問	築瀬 進	石森 久嗣	
代表代行	谷 博之		
副代表	福田 昭夫		
幹事長	田城 郁	佐藤 栄	
副幹事長	松井 正一		
	斉藤 孝明	加藤 正一	
	加藤 優	高田 悦男	
	落合 誠記		
財政委員長	佐藤 栄(兼務)		
選対委員長	佐藤 栄(兼務)		
組織委員長	今井 恭男		
政策委員長	加藤 正一(兼務)		
広報委員長	大武 真一		
青年委員長	落合 誠記(兼務)		
男女共同参画委員長	福田 智恵		
企業団体対策委員長	斉藤 孝明(兼務)		
倫理委員長	隅内 正美(兼務)		
常任幹事	藤井 弘一	工藤 正志	
	隅内 正美	青田 兆史	
	大貫 毅	塚原 俊夫	
	山口 孝		
幹事	真壁 英敏	駒場 昭夫	
	真壁 俊郎	中村 久信	
	石島 政己	大川 圭吾	
	寺内 富士夫	吉田 晴信	
	福田 浩二	植松 明男	
	川添 芳廣	山本 幸治	
	中塚 英範	高橋 芳市	
	石川 保	篠原 浩典	
	金子 達	野中 勝夫	
	石田 晃一	森田 一穂	
	関口 幸雄	原田 守男	
	山口 浩治	武田 保芳	
会計監査	菊地 久二	鈴木 貢	
相談役	大出 勝久	長島 一男	

(順不同・敬称略)

第17回定期大会開催

民主党栃木県連は、3月23日(土)宇都宮市内にて「第17回定期大会」を開催した。

冒頭、築瀬進常任顧問が民主党がスタートした1996年の最初の衆議院選の当選者数が54名(現在57名)だったことを引き合いにし「これは原点に返ったこと。いま一度政権交代を目指して踏ん張り直すことが、我々民主党の使命である。その使命を確認して、7月の参議院選挙、次期の統一地方選挙に向けて歩みを始めなければならない。皆さんの心を合わせ、力強いご支援をいただきながら、原点に戻る大会としてしっかりと充実した成果を見せたい」と開会にあたっての挨拶を述べた。

代表挨拶に立った谷博之代表は、衆議院選挙で大変厳しい結果になったにもかかわらず、ご臨席いただいた代議員、オブザーバー、ご来賓の方々の叱咤激励に感謝、御礼を述べた。そして、安倍政権の沖縄基地問題やTPP交渉参加、金融政策を力で推し進めようとしていることに言及したうえで、「民主党はともに力をあわせて共生の社会をつくろうというのが立党の精神で活動してきた。しかし今の自民党の政治は、強いものがさらに力をもって弱いものが犠牲になってしまう。国民の生活に直結する課題は我々民主党が追及していかなければならない」とした。

また、「7月の参議院選挙を民主党が国民にとって必要な政党であると立証するために、先頭に立って頑張っていきたい」と決意を述べた。

谷代表は「民主党は今崖っぷちである。しかし、苦しいときこそみんなで力を合わせれば必ず道が開ける。必ず明日への展望が開ける。明日に向かって希望と勇気の持てる輝かしい大会にしていきたい」と締めくくった。

当日は約30名のご来賓にお越しいたごき、代表して青木義明連合栃木会長、佐藤順一副知事、佐藤信鹿沼市長、國井豊那須烏山市副市長、川添誠栃木市長代理、業界団体の代表者の方々からご祝辞をいただいた。

次第に沿い、活動報告・活動計画へと進行。登壇した松井正一幹事長は、政権与党として取り組んだ3年3カ月を振り返り、政党として民主党が力不足であったこと。そして、昨年12月の衆議院選挙での大敗。国民・県民の期待に応えられなかったことを深く陳謝した。「この結果を真摯に受け止め反省し、この経験を貴重な糧として県連一丸となって直面する諸課題に全力で臨むとともに、地道に確実に地域における日常活動に取り組んでいく」と決意を述べた。

また、今年は役員改選の年であり、落合

誠記副幹事長より提案があり新役員体制が満場の拍手で承認された。

そして、参議院通常選挙での勝利に向けて、海江田代表のもとと結束を固め邁進することを盛り込んだ『参議院選挙必勝決議』を福田昭夫新代表代りが提案し、了承された後、谷博之、築瀬進、両候補予定者から参議院必勝に向けて力強い決意が述べられた。

後に石森久嗣常任顧問から「民主党は今どん底にある。しかしあとは上がるばかり。民主党の希望の光を、私たちの思いを次の世代につなげていきたい」と熱い思いが述べられ、参議院選挙必勝にむけ一致団結することを誓い『頑張ろう三唱』を行った。

2013年
参議院議員選挙

公認候補予定者決定!!

栃木選挙区

参議院議員
元法務副大臣

谷ひろゆき



決意

つらく苦しいことの多かった人生経験を糧に、障がいを持つ方々や難病と闘う方やご家族、そして地域や現場で助け合いや環境保護に取り組まれている人々のお役に少しでも立ちたい。子どもたちや孫たちに多少不便でも、心豊かに暮らせる社会を残したい。そんな「温かい共生社会」を実現すべく私はこれまで12年間国政に取り組んできました。

2期目には3年余の与党、1年余の政府入りも経験し、社会保障改革、環境保全、身近な法務行政、そして大震災からの復旧・復興を責任のある立場で一步一步進めてきました。しかし、やり残した課題はまだ多く、改革は道半ばです。

私は現場で汗して働く皆様の声に、地域で懸命に生活している皆様の叫びに耳を傾け、その代弁者として党を立て直し、再び政権に再び咲きたい。「自助・自立」「自由競争」をことさらに強調する政治勢力に、この国の未来を託すことはできません。

地方議員から35年間の政治生命をかけ、全力で参議院選挙を戦い抜く決意です。

改革は道半ば。後戻りはさせません!

道半ば、これからも全力でとりくみます!

- 難病対策の推進に関して、当事者の参加を得て大人と子どもの難病医療の拡大、議員立法案化を作業中です。
- 悪質な交通事故の厳罰化について、ご遺族の署名や声を踏まえつつ刑法改正を法制審で協議中です。
- 小泉政権時代の行き過ぎた規制緩和により、タクシー運転者の賃金の劣悪化が加速。これに対し民主党タクシー議連を設立し、運転者・事業者と論議を重ねて新法を立案、超党派の議員立法化をめざして各党と交渉中です。

とちぎから、「温かい共生社会」を!

■ 支えあい、ともに暮らす社会へ

- 2012年6月、障害者総合支援法を制定しました。今後、支給決定や重度障害者への支援、就労支援、コミュニケーション支援などについて、当事者を交えて議論し、決めていきます。
- 障がい者差別禁止法の制定、障がい者権利条約の批准も2013年中に実現をめざします。

- 発達障がいのあるお子さんも、普通の学校で共に学び、育つ環境整備を進めます。
- 低所得の方々に過重な負担とならない公平な税のしくみを作ります。

■ 「とちぎ」の隅々まで、くらしの熟知

- とちぎ内の被災地で復興に汗流す地域の人々、企業を全力で応援します。
- 試作開発、設備投資、海外展開などに取り組む中小企業や地場産業を応援し、「とちぎ」の産業振興と安定した雇用の確保で、経済を元気にします。
- NGO・NPOが下請けでなく自立的に介護や福祉、子育てや地域振興に取り組めるよう財政力を強化し、人材育成を強力にバックアップ、「とちぎ」に“新しい公共”を根付かせ加速します。

■ 農林業を強化し、「とちぎブランド」創出へ

- アジアと共に発展成長するために、まずは日本農林業の強化が必要です。「有機」「品質」「加工」などで付加価値を高め、

■ 谷 博之(たに・ひろゆき)プロフィール

昭和18年7月6日生まれ
 宇都宮大学農学部卒
 一般企業に就職後、故・稲葉誠一代議士の第一秘書を6年間務める
 54年 宇都宮市議会議員に当選、2期8年務める
 62年 栃木県議会議員に当選、4期14年務める
 平成9年 民主党栃木結成に参画
 13年 栃木選挙区から参議院議員に初当選
 19年 参議院議員2期目当選(現在に至る)
 24年 野田第2次改造内閣で法務副大臣
 現在 民主党栃木県連代表

食料安全保障を確保し、「とちぎブランド」の輸出力も高めます。

■ エネルギーを地産地消に

- 脱原発そして外国からの輸入依存率を下げていくために、地域での小規模発電を応援します。「とちぎ」には再生エネルギー源として小水力、地熱、家畜の糞尿、ホテルの食品残渣など可能性が充分にあります。効率的、画期的な発電技術の開発を促進します。

■ もっと! 子育て支援

- 2040年「とちぎ」の人口は150万人を切るかと予測される中、教育をはじめとする家計負担の軽減、地域環境の整備、施設の拡充、障がいを持つ児童が共に育ち、学ぶ教育の実現、若者・女性の就労支援など、あらゆる施策を総動員して取り組みます。

7月の参議院選挙において、栃木選挙区に谷ひろゆき、比例区にやなせ進の公認を決定致しました。

参議院選挙必勝に向け、挙党一致のもと全力を挙げて戦います。

皆様の力強いご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

比例区

衆議院議員2期・参議院議員2期
民主党政権初の参議院予算委員長

やなせ進

決意

私は、96年民主党創立の時、政策委員長として民主党という党名を提案しました。そのとき私が年頭においたのは、その名の通り、「民」が「主」、すなわち一人一人の国民が主役であり、主役としての実感が持てる「社会」と「政治」を作ることでした。「おかみ」が主役ではなく「市民」が主役。この思いこそが、私の原点です。

政権をうしなした民主党を再生するためにもっとも必要なこと、それは自民党との明確な差別化をどうするかです。言葉を変えれば、対立軸はなにかです。私は、もっとも明確な対立軸は、アメリカ発の新自由主義すなわち競争万能主義との距離感だと考えます。競争がもたらす過度の「格差」との戦い、民主党のすべての政策をこの点に特化すべきです。

政治の原点は辻説法にあり。これが私の信念です。毎週月曜日のマンデーレポートは、スタート以来23年目、1日の街頭演説を1回と数えて本年1月で950回を迎えました。また、新春の全県遊説も、栃木県内の旧市町村49ヶ所の各所で行い、本年で13年目を数えます。演説中に厳しい言葉をかけられたり、励まされたり、有権者の声の肌突きささってきます。「一千日の辻説法」をめざし、常に生身の体で皆さんの声を受け止め、そして、皆さんの声を国政に届けていきたいと思っています。



■ 築瀬 進(やなせ・すすむ)プロフィール

- 1950年4月23日、栃木県宇都宮市生まれ
西小〜一条中〜宇都宮高校〜東北大学法学部卒業
- 栃木県議会議員(2期)
- 衆議院議員(2期) 建設政務次官などを歴任
- 参議院議員(2期) 内閣委員長、参議院国会対策委員長、予算委員長などを歴任
- 毎週月曜日の辻説法「マンデーレポート」は23年目、950回達成(2013年1月現在)

【現在の主な役職】

弁護士／行政書士／民主党県連常任顧問／音楽議員連盟事務局長／(財)音楽文化創造名誉会長／国会コーラス愛好会事務局長／栃木県交響楽団理事／栃木県太極拳連盟会長／栃木県ディスクゴルフ協会会長／栃木県トランポリン協会会長／オール栃木アームレスリング連盟会長／栃木県柔道連盟顧問／宇都宮西部学童軟式野球顧問／日本三曲協会会員

やなせ進の基本姿勢 原点からの再出発

● 「市民が主役」の原点に！

この国の主役は長い間、「民」ではなく「おかみ」(政官業の癒着構造)でした。

96年に誕生した民主党の原点は、この国の主役を「民」に取り戻すことを目的としたはず。しかし、政権の座についた瞬間から、この原点を忘れて、ミイラ取りがミイラになってしまいました。いま大切なこと、それは、この原点に戻ることにあります。

● 「格差」との戦いを！

アメリカ発の「競争万能主義」が、世界のそして日本のさまざまな格差をどんどん拡大しています。所得の格差、教育の格差、産業間の格差…。

拡大する格差に社会が、そして人間がおしつぶされないよう全力を尽くします。

● 「したたかな外交」を！

米中という二つの大国にはさまれた日

本に必要なのは、「したたかな外交」です。

この国の最大の特色は、東西の文明をたくみに取り入れて融合してきたことにあります。異なる文明の調整者としての特色を外交に生かすべきです。

● 「科学と文化」の創造力を！

高度な洗練された科学の力、そして東西文化を融合した文化の力こそ、この国のエネルギーの源です。科学と文化のソフトパワーの強化をこの国の国家戦略とします。

● 「リベラル」の再結集を！

自民党が圧勝し、安倍政権が戦前の日本への復古主義的な傾向を強めている中で、歴史の冷静な分析に立って外交・安全保障を考える視点がきわめて重要です。

新たなリベラルの再結集の先頭に立ちます。

やなせ進の重要政策

- ①市民セクターの拡大
日本のエネルギーの源は一人一人の「民」にある。自立と共生の原理がささえる「民」の活動分野を拡充していくことが、この国の未来を救うポイント。
- ②市場競争至上主義が、もたらす非合理的な「格差」と正面から戦う政策体系の確立。経済的な弱者によりそう暖かな政治の確立。「正規・非正規の労働者・中小企業者・個人企業者・農林水産業関係者 etc.）
- ③知的創造力を中心軸にすえて経済の活性化を図る総合的な産業政策の確立。
- ④クリーンエネルギー革命の推進。
- ⑤タテ型の税配分から、ヨコ型の税配分へ。
＝補助金型から、寄付金控除型への大胆な税配分システムの変革。
- ⑥情報社会に対応する政治システム＝直接民主制への転換。
(→重要な国政問題についての国民投票の採用)
- ⑦歴史リスクへの対応。
〔したたかな外交戦略〕＝文明の衝突を超越する調整者として)
- ⑧少子化傾向に歯止めをかける総合的政策の推進。
(少子化対策こそ、21世紀を乗り切る最大の国家戦略)
- ⑨少子・高齢化時代に対応する持続的な社会保障制度の確立。
- ⑩文化立国。わが国固有の文化と伝統への誇りとアイデンティティーの確立。
東西文化の融合をさらに可能にするソフトパワーの滋養。さらに、ソフトパワーを軸にした外交戦略・経済戦略の展開。

第23回参議院議員比例代表選挙 公認候補予定者

私たち民主党は7月の参議院選挙を勝ち抜き、互いに支え合い、すべての人に居場所と出番がある、強くてしなやかな共に生きる社会を作りあげていきます。

2013年4月19日現在 計18名

「市民」が主役、この思いが原点	いのちを大切に 社会をめざして	すべての武器を楽器に。	誰もが安心して暮らせる 平和な社会の実現へ	「共生」の考え方を 常に携え国政に臨む	将来に対して希望の持てる 社会をつくるために
					
やなせ進 前参議院議員(2期) 弁護士、行政書士	おおしますお 参議院議員(1期)	キナ 昌吉 前参議院議員(1期) 音楽家	あいはらくみこ 参議院議員(1期) 連合推薦(自治労)	石上としお 新人 東芝グループ連合副会長 連合推薦(電機連合)	いそざき哲史 新人 自動車総連特別中央執行委員 連合推薦(自動車総連)
生涯現役に向け 誠心誠意尽くす	ヒューマン・ニューディールを提唱 ~人を守り、人を育て、人を活かす~	約束します。こどもの 世代をおもう政治。	子どもたちの笑顔と 平和な未来のために	働く者の声を活かした 政策実現に尽力	希望と安心の ネットワークを創造
					
石井 一 参議院議員(1期) 党副代表	円より子 前参議院議員(3期) 党元副代表	五十嵐ふみひこ 前衆議院議員(4期) 元財務副大臣	神本みえ子 参議院議員(2期) 連合推薦(日教組)	かわいたかのり 参議院議員(1期) 連合推薦(UAゼンセン)	さだみつ克之 新人 日本郵政グループ労働組合特別中央執行委員 連合推薦(JP労組)
「未来にツケをまわさ ない政治」をめざす	理想の政治を実現するため 新たなチャレンジを決意	再び、地域から。 次代を担う子どもたちのために	人が主役の社会をつくる	真面目に働く方々の 思いを国政に	明日に夢や希望を 持つ雇用環境の改善に取り組む
					
ツルネマルテイ 参議院議員(2期)	吉田公一 前衆議院議員(4期) 前農林水産副大臣	おくむら展三 前衆議院議員(3期) 元参議院議員(1期)	とどろき利治 参議院議員(1期) 連合推薦(基幹労連)	浜野よしふみ 新人 全国電力関連産業労働組合総連合会長代理 連合推薦(電力総連)	吉川さおり 参議院議員(1期) 連合推薦(情報労連)



あなたも民主党に参加しませんか?

民主党の運営と活動を支え、ともに行動する〈党员・サポーター〉を募集しています。

党员とは?

- ◆民主党の基本理念と政策に賛同する18歳以上で日本国民の方なら、どなたでもなれます。
- ◆党費は、年間6,000円です。
- ◆資格期間は、お申し込み手続きが完了した日から1年間です。
- ◆党员は、代表選挙で投票することができます。
- ◆党员は、民主党の運営や活動、政策等の決定に参画することができます。
- ◆党员は、民主党の広報紙「プレス民主」が送付されます。
- ◆党员の権利や活動は、民主党規約や組織規則等で定められており、それ以外の義務やノルマ等はありません。

◆ 党 員 党費 6,000円

◆ サポーター 会費 2,000円

サポーターとは?

- ◆民主党を応援したい18歳以上の方なら、どなたでもなれます。
- ◆会費は、年間2,000円です。
- ◆資格期間は、お申し込み手続きが完了した日から1年間です。
- ◆日本国民のサポーターは、代表選挙で投票することができます。
- ◆サポーターは、党の行事および活動に参加できます。

定時登録締切

5月17日(金)までにお申し込み下さい。

民主党代表選挙への参加について

- ◆代表選挙は3年に1度行われます。
- ◆代表選挙は、郵便投票による参加です。
- ◆代表選挙に参加するには、代表選挙がある年の5月末までに、民主党本部に党员・サポーターとして登録されている必要があります。

お申し込み
お問い合わせ先

民主党栃木県総支部連合会
〒320-0043 宇都宮市桜2-1-30
Eメール: minsyu@ace.ocn.ne.jp
☎ 028-627-1700